

Simple mail [シンプルメール]

導入ドキュメント（PMail Server 編）

[メールリレーの設定方法] ver.1.6

PMail Server のメールリレー設定

本ドキュメントについて

Simple mail をご利用頂くにあたりメールリレーの設定方法を記載しております。

なお、メールサーバーの設定が完了しており、Windows の基本操作が可能なお客さまを対象としております。

接続形式について(メールリレーとは?)

メールリレーとは、メールをあるサーバーから別のサーバーへ転送することです。

例えば、ある会社 A の人が会社 B の人にメールを送る場合、通常メールは会社 A の SMTP サーバーから、会社 B のサーバーに送信されます。何らかの理由で、会社 A のサーバーから会社 B のサーバーに直接送信できない場合、会社 A、会社 B どちらのサーバーとも通信できる サーバー X を介して、メールを転送します。このように、特定のサーバーが別のサーバーからメールを受け取り中継することを「メールリレー」と呼びます。

PMail Server とは？

Windows 用電子メールサーバソフトウェア（MTA）の一種です。GUI での設定が可能です。

GMO クラウドで対応している商材

サービス名	可否
GMO クラウド専用サーバー	○
GMO クラウドハウジング	○
パブリッククラウド（ALTUS）	○
プライベートクラウド	○
GMO クラウド VPS	○
WADAX 専用サーバー	×
ラピッドサイト VPS	×
iCLUSTA	×

メールサーバーの設定の前に確認すること

シンプルメール側の設定

シンプルメール側で、利用予定のドメインが追加されていることをご確認ください。

メールサーバー側の設定

以下、メールリレー設定を行いますと、その時点より「シンプルメール」のメールサーバー経由でのメール配信となります。

初期設定値等、シンプルメールのコントロールパネルを一度ご確認くださいの上で、設定をお願いいたします。

※本設定作業は管理者権限で実施致します。作業の際には十分お気をつけください。

また、各設定ファイルについては編集前に オリジナルのファイルを保存して頂くことを **強く** お勧めいたします。

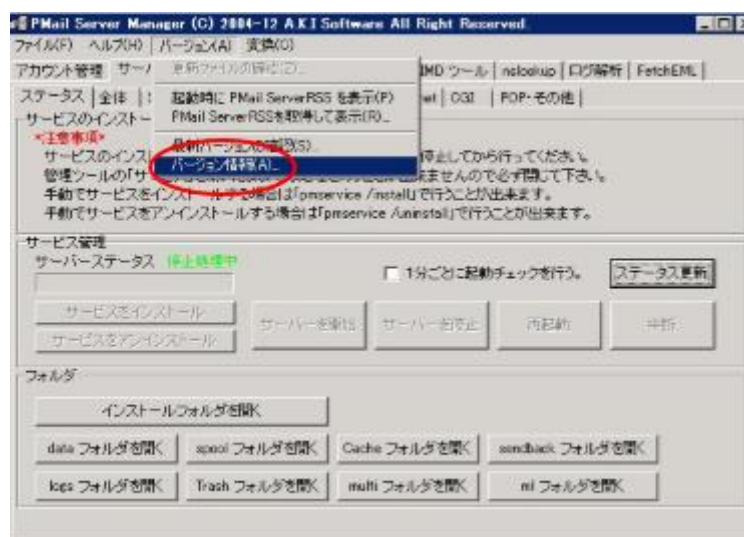
設定方法基本編

検証済み環境

PMail 1.91(Free)	Windows Server 2008 R2 (64bit)
------------------	--------------------------------

MTA のバージョン確認方法

ツールバーの [バージョン] → [バージョン確認] の順にクリックしてください。



下記にてバージョン情報を確認可能です。



SPF について

SPF(Sender Policy Framework)は DNS を利用した、なりすましメールを検出するための仕組みです。

Simple mail をご利用頂くにあたり、弊社 Simple mail のサーバーがお客さまのメールを中継した際に、お客さまのメールでご利用されるドメインと送信元（中継サーバー）の IP アドレスが合致しないため、メール受信先の SPF 認証でメールを受け付けられないことが御座います。

設定方法

SPF の設定

メールで利用するドメインを管理している DNS にて、以下の例のどちらかを SPF レコードの設定を追加してください。

【DNS 設定内容】

例 1) example.org. IN TXT "v=spf1 include:simplemail.jp ~all"

例 2) example.org. IN TXT "v=spf1 +ip4:180.222.177.137
+ip4:180.222.177.160/28 ~all"

※example.org.はドメインの例になりますので、ご利用の環境に応じて適宜変更してください。

PMail Server の設定

Pmman.exe を起動し、[サーバー管理] > [転送] を選択します。

以下の内容を入力します。

識別ドメイン：*

転送先：mail.simplemail.jp

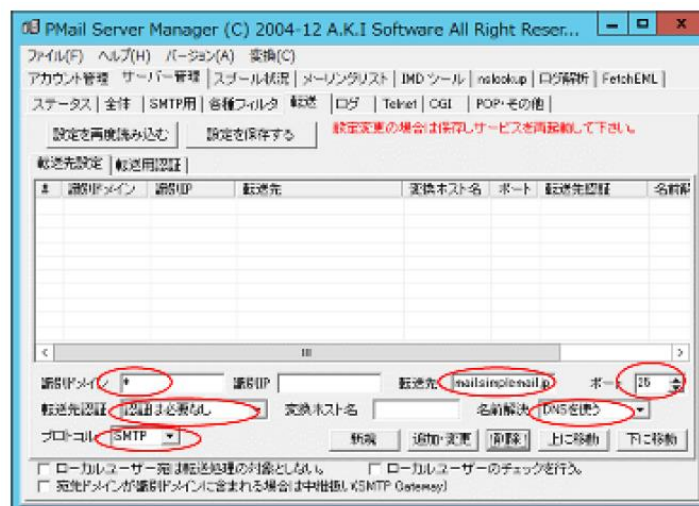
ポート：25

転送先認証：認証は必要なし

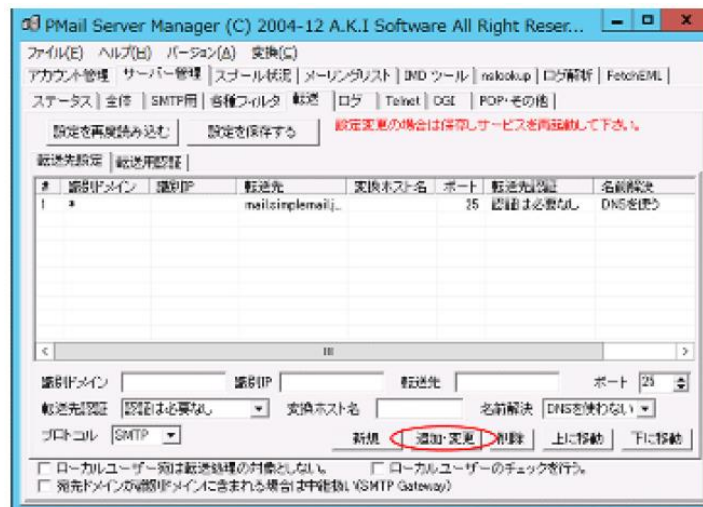
名前解決：DNS を使う

プロトコル：SMTP

※他は空欄で問題ありません



[追加・変更]をクリックします。



[サーバー管理] > [ステータス]を選択します。

[再起動]をクリックし、サービスを再起動します。



セキュア接続

セキュア接続について

本ドキュメントで対応するのは、お客さまご利用のメールサーバーからシンプルメールサーバーへの経路をセキュア接続するものです。

※各種メーラー/メールサーバー間のセキュア接続設定はお客さまにてご設定頂きますようお願い致します。

stunnel とは

stunnel とは、既存のクライアント/サーバー間の通信を暗号化することができるソフトウェアです。

検証済み環境

stunnel 5.31 on Win32	Windows Server 2008 R2 (64bit)
-----------------------	--------------------------------

設定方法

stunnel インストール

公式サイト(<https://www.stunnel.org/downloads.html>)から stunnel をダウンロード

stunnel 設定

stunnel で、Simple mail へセキュア接続する設定を行います。

下記ファイルを開き、Example TLS client mode services に書かれた[`gmail-pop3`]

[`gmail-imap`] [`gmail-smtp`]の内容を無効にした後、下記の設定を追加して stunnel を起動してください。

CAfile はお客さまが利用している環境によって適宜変更が必要になる場合があります。

【ファイル】

stunnel をインストールしたフォルダに生成される stunnel.conf

【無効内容】

```
:[gmail-pop3]
```

```
;client = yes
```

```
;accept = 127.0.0.1:110
```

```
;connect = pop.gmail.com:995
```

```
;verify = 2
```

```
;CAfile = ca-certs.pem
```

```
;checkHost = pop.gmail.com
```

```
;OCSPaia = yes
```

```
:[gmail-imap]
```

```
;client = yes
```

```
;accept = 127.0.0.1:143
```

```
;connect = imap.gmail.com:993
```

```
;verify = 2
```

```
;CAfile = ca-certs.pem
```

```
;checkHost = imap.gmail.com
```

```
;OCSPaia = yes
```

```
:[gmail-smtp]
```

```
;client = yes
```

```
;accept = 127.0.0.1:25  
  
;connect = smtp.gmail.com:465  
  
;verify = 2  
  
;CAfile = ca-certs.pem  
  
;checkHost = smtp.gmail.com  
  
;OCSPaia = yes
```

【設定】

```
[over ssl simplemail]  
  
sslVersion = TLSv1  
  
accept = 10465  
  
connect = mail.simplemail.jp:465  
  
client = yes  
  
CAfile = ca-certs.pem
```

PMail Server 設定

Pmman.exe を起動し、[サーバー管理] > [転送] を選択します。

以下の内容を入力します。

識別ドメイン：*

転送先：localhost

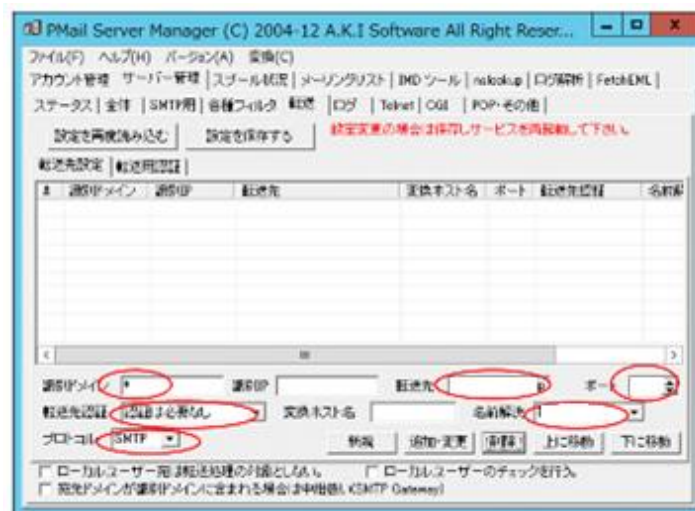
ポート：10465

転送先認証：認証は必要なし

名前解決：DNS を使わない

プロトコル：SMTP

※他は空欄で問題ありません



[追加・変更]をクリックします。



[サーバー管理] > [ステータス]を選択します。

[再起動]をクリックし、サービスを再起動します。



注意点

- 1.本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- 2.本書の内容については、予告なしに変更される場合がございますのでご了承ください。
- 3.本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万が一不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたらご連絡ください。
- 4.運用した結果の影響につきましては 3 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 5.本サービスがお客さまにより不適當に使用、本書の内容に従わずに取り扱いされた場合の損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。